

**令和4年度林業研究・技術開発推進  
関東・中部ブロック会議育種分科会と  
関東地区特定母樹等普及促進会議等を開催**

9月13日、令和4年度林業研究・技術開発推進関東・中部ブロック会議育種分科会を、林野庁と(国研)森林研究・整備機構の共催により開催しました。この会議は、林野庁、林木育種センター、都県等の連携による林木育種の推進を目的として毎年開催しています。

今年度の関東・中部ブロック会議は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面とオンラインの併用で開催されました。

会議では林木育種センターから、優良品種の開発・普及の状況等に加え、林木育種推進計画の改訂について、エリートツリーと特定母樹及び開発品種の関係、林木遺伝資源の保存・収集について等の説明をしました。

また、都県より特定母樹に関する取組や花粉症対策品種に対する取組、林木遺伝資源に対する取組などの紹介がありました。

ブロック会議育種分科会終了後には引き続き、静岡県による現地情報交換会として特定苗木の早期安定供給に向けた閉鎖型採種園による種子生産の説明がオンラインにより行われ、静岡県が閉鎖型採種園を導入した経緯から現状と今後の課題等の説明がありました。

なお、北海道、東北、近畿・中国・四国、九州の各ブロックについても9月から10月にかけてブロック会議育種分科会が開催され道府県、森林管理局との討議が行われました。

また、7月29日には関東地区特定母樹等普及促進会議がオンラインにより開催され、主にカラマツについての取組、採種園の管理等の議題について説明が行われました。

今年度はカラマツをテーマとしていることから、カラマツ育種技術連絡会との共催となり関東育種基本区内の都県及び北海道、青森県、岩手県、山形県、鳥取県、伊那市等、全国山林種苗協同組合連合会、都県山林種苗協同組合、ほか林業関係の企業・団体、林野庁、東北、関東

及び中部森林管理局、森林総合研究所、森林整備センター、森林保険センターに参加いただきカラマツ特定母樹の増殖に関わる技術情報、山梨県のカラマツの既存採種園の再生への取組や岩手県でのカラマツ採種園の管理技術、クリーンラーチの開発の経緯や苗木生産、普及など、カラマツにかかる情報について、参加者と情報交換をしました。

また、特定母樹の採種園における種子生産やそこから得られた種子から育成した苗木の成長性等について活発な質疑応答が行われました。

**一般公開「第25回親林の集い」を開催**



10月22日(土)に林木育種センターの一般公開「第25回親林の集い」が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度、3年度と中止となっていたので3年ぶりの開催となり今年度は人数を制限しての事前予約制で午前の部は88名、午後の部は55名の方々に参加いただきました。

研究施設探索ツアーや森の迷路、森のクイズラリー等のほか森林総合研究所による樹木精油の香り体験や森林整備センター、森林保険センターによる木製品の絵付け、茨城森林管理署によるリース作り等、来場者楽しく体験していただくとともに当センターの事業や日頃の研究成果を紹介することができ、また森林の大切さや木材利用に対する理解を深め、森の恵みとのふれあいを通じて、地域住民との交流を図ることのできた一般公開となりました。

(企画部 育種企画課 千葉 一美)

**表紙タイトル写真**

第3期プロジェクトに携わるケニア森林研究所の研究者・技術者と。ケニアTiva 検定林にて令和4年2月。



**林木育種情報 No.41** 令和4年11月30日発行  
国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林総合研究所林木育種センター  
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1  
TEL : 0294-39-7000(代)  
FAX : 0294-39-7306  
ホームページ <https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>